

公開シンポジウム

現場の疑問と研究をつなぐ

日時 2016年12月24日(土) 13:00~17:00

場所 日本女子大学八十年館5階851教室

申込者多数により教室を変更しました

庵功雄先生、前田直子先生にご登壇いただき、教師が日本語を教える時に困難だと感じる文法項目を中心に、日本語教育に必要な文法研究とは何か、文法研究をどう日本語教育に活かせるかをテーマにお話しいたします。

両先生のご提案をうけて、事前に、インターネットで文法に対する困難点などを現場の先生方に伺い、それらの疑問に答える形のシンポジウムを計画しました。指定討論者のお二人とともに、参加者全員で考え、議論する場になればと考えます。

【テーマ1】日本語教育において必要な文法研究とは何か

- ・発題者1 (庵功雄・一橋大学国際教育センター教授)
- ・指定討論者1 (村上佳恵：学習院女子大学非常勤講師)

【テーマ2】文法研究をどのように日本語教育に活かせるか？

—授受表現の捉え方と教え方をめぐって—

- ・発題者2 (前田直子：学習院大学文学部教授)
- ・指定討論者2 (太田陽子：一橋大学国際教育センター准教授)

申し込み URL :

<https://ssl.form-mailer.jp/fms/aeb90dad468455>



日本女子大学目白キャンパスへのアクセス

○JR山手線 目白駅から徒歩約15分またはバス約5分

[バス]

都営バス (学05) 日本女子大学行 (直行) 「日本女子大前」

都営バス (白61) 新宿駅西口行 「日本女子大前」

○東京メトロ副都心線 雑司が谷駅から徒歩約8分 (3番出口)

○東京メトロ有楽町線 護国寺駅から徒歩約10分 (4番出口)



連絡先 江田研究室 03-5981-3524 goda@fc.jwu.ac.jp